

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda138号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2014年3月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

26年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
4月	3月25日第15回さいたま環境賞授賞式と市長への報告会 6日 カタクリエコツアー 27日 つつじ祭り	19日 保全活動 26日 竹の子掘り	3日 モニ1000 白子湧水群 17日 大坂ふれあいの森	
5月	5月17日 総会(総合体育館会議室) 総会後松移植後の保全と観察の会	17日 保全活動	1日 モニ1000 白子湧水群 15日 大坂ふれあいの森	17日 松の保全と観察の会

1. 「和光の湧き水と自然を守り伝える」活動が認められ、第15回さいたま環境賞の受賞。

活動テーマ

県南最多！湧き水の街「和光の湧き水と自然」守り、伝える

—和光の身近な自然を調査・保全、自然まるごとガイドの実践—

2. 樹林公園で発芽した松幼樹を園内に移植しました

2014年2月25日 10時～ 集合場所 南駐車場近くのヒロハアマナ保護区域

樹林公園森づくりの一環として、2年前から園内で発芽した松を鉢植えにしてから保護育成し、10数本の苗が育っていて、公園の一角に移植することになりました。この移植地は、地面が固くなっているために、掘り返し、藁や落ち葉を土に混ぜ移植しました。今回都市整備課の協力の下で、公園再生の一つの試みとして進めました。

八廣園の近藤様を通し、松の苗木の植栽について、樹木医からアドバイスを頂きました。

1. 埋め戻しは土ぎめ(埋め戻し土を根と土が密着するようによく締め固める)が良い。
2. 埋め戻し土に、刻んだ藁を混ぜるとよい。藁がもともと持っている菌類が、ほかの菌類の侵入を抑制する効果がある。藁を混入することで、土中の空隙を保つことができる。根の呼吸を助ける。
3. 植栽後土の表面に藁でマルチングを行う。土の乾燥防止、夏期の温度抑制、雑草の抑制など特に松の場合は雑草に覆われると成長が妨げられてしまうので広めに藁を敷いて雑草の抑制を図る。
4. 幼樹の根が風で動いたり倒れないように、支柱を1本立てて紐で結束する。



親子でも参加

白子、新倉、市外から会員が樹林公園に集合 都市整備課の蓑和田さんも移植



園内で発芽した26本の幼樹。これから夏の草刈りなど保全が必要になります。皆で見守って育てましょう。